

平成28年12月定例教育委員会 会議録

1. 日 時 平成28年12月20日(金) 開 会 午後 4時00分
閉 会 午後 5時00分
2. 会 場 茅野市役所 602会議室
3. 出席委員 教育長 山田 利幸 同職務代理者 矢崎 靖雄
教育委員 小林 智 教育委員 小林 俊恵
教育委員 小平 光子
出席者 生涯学習部長 木川 亮一 こども部長 牛山 洋治
学校教育課長 平出 信次 スポーツ健康課長 鋤柄 敏
幼児教育課長 牛山津人志 こども課長 両角 勝元
生涯学習課長 小島 吉彦 公民館長 矢島喜久雄
教育総務係長 渡辺 雄一 生涯学習係長 上原 平二
こども係長 今井 明彦 文化財係長 小林 深志
教育総務主事 丸茂 直樹
4. 傍聴者 2名

1 2月定例教育委員会次第

日 時 平成28年12月20日（火）午後4時00分から

場 所 市役所 602会議室

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 報告事項

第1号 教育長報告

第2号 各課からの報告

（1）学校教育課

（2）こども課

（3）幼児教育課

（4）生涯学習課

（5）公民館

（6）文化財課

（7）スポーツ健康課

第3号 教育委員会共催後援

（1）生涯学習課

（2）スポーツ健康課

4 議 案

（1）平成29年度保育園入園式の日程について

（2）平成29年度小中学校入学式・着任式等の日程について

（3）茅野市立小学校及び中学校職員自家用車の公務使用取扱要綱の一部改正について

5 検討事項

今回はありません。

6 その他

（1）市議会12月定例会一般質問について

（2）市議会12月定例会議決結果について

（3）教育施設等の年末年始の休みについて

（4）愛してるぜ茅野ミーティング2016の報告

（5）平成29年度地区公民館長の選考について

（6）図書館開館時間の延長（試行）について

（7）中学生台湾教育交流事業について

次回定例教育委員会日程について

1月27日（金）午後1時30分「602会議室」

（事務局会議 1月12日（木）午前9時00分「602会議室」）

教育長

只今から、12月定例教育委員会を開催します。

前月の11月の会議録の確認をします。何かありますか。

全委員

異議なし。

教育長

1日に茅野単組の回答がありました。予算面でICT、支援員を増やしてほしいという要望がありました。5日に教育支援委員会が開かれました。10日に諏訪子ども人権の集いが行われ4中学校の生徒の作文が非常に多く入選しました。その中で永明中学校の生徒の作文が県入選でした。内容についてはとても心に響く内容でした。11日に縄文かるたの披露会がありました。とても良いかるたができたと思います。13日に小中一貫教育委員会が米沢小学校で行われました。また同日に台湾交流報告会が行われました。非常に素晴らしい発表で、異文化交流と英語を学ぶことに意味を力強く発表してもらいました。1月20日には高雄市姉妹校の生徒が学校交流という事で訪問します。21日CM大賞の報告会が行われます。北部中学校の生徒が賞をいただいたということで、市長へ報告へ来ます。また22日に永明中学校の生徒が県のバレーボール協会から推薦という事でジュニアオリンピックカップに出場しますので、教育長室にて激励を行いたいと思います。

教育長

次に報告2号各課から報告をお願いします。

[各課から1月行事予定について報告]

資料（報告2号）

教育長

次に報告事項第3号、教育委員会共催・後援についてお願いします。

[生涯学習課、スポーツ健康課から教育委員会共催・後援について報告]

資料（報告3号）

教育長

次に議案第1号「平成29年度保育園入園式の日程について」幼児教育課長、こども課長からお願いいたします。

幼児教育課長

平成28年度の卒園式の日程の一覧になります。3月14日が玉川どんぐり保育園、わかば保育園、3月16日が茅野聖母幼稚園、3月21日がよこうち保育園、3月24日が市内公立保育園（15園）となっております。入園式が市内全保育園（18保育園）4月3日になります。茅野聖母幼稚園については、未定となっております。

こども課長

やまびこ園については、卒園式が3月21日午前10時から、入園式が4月5日午前10時からとなっております。

教育長

次に議案第2号「平成29年度小中学校入学式・着任式等の日程について」学校教育課長からお願いします。

学校教育課長

3月16日に中学校の卒業式が行われます。3月18日に小学校の卒業式が行われます。3月22日に退職・転任・昇任、校長及び教職員送別会が行われます。3月27日に永年勤続教職員感謝状贈呈式が教育長室で行われます。4月3日に新任校長辞令交付式が行われその後、各学校にて着任式が行われます。4月6日の午前中に中学校入学式、午後から小学校入学式になります。その後15時から学童クラブ入所式が行われます。16時から転入・新任教職員歓迎式が行われます。4月12日に学校長・教頭歓迎会が行われます。参考までに、3月17日に県立高等学校入学予定者の発表が行われます。

教育長

次に議案第3号「茅野市小学校及び中学校職員自家用車の公務使用取扱要綱の一部改正について」教育総務係長お願いいたします。

教育総務係長

平成14年に長野県の義務教育課より、職員自家用車の公務使用取扱要綱等の一部改正の通知が届いております。この通知中の（2）使用基準の改正が示されており、その内容は、「1日の走行距離が200km以上又は運転時間が5時間を超える場合」に「高速道路を利用する場合は、走行距離に関わらない旨」を但し書きとして追加するものでありました。

茅野市の要綱もこの但し書きを追加しなければならないため、今回改正したいと思います。新旧対照表については資料の通りになります。

教育長

何か質問などございますか。

なければ、この案のとおり改正の手続きを進めてもよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

次にその他1「市議会12月例例会一般質問について」こども部長お願いいたします。

こども部長

小池賢保議員から茅野市の教育についてということで4つの質問をいただいております。1つ目が教育長が願う茅野市教育のキーワードについてということで回答が、茅野市教育は、読書を教育の基盤に据えてきた。これからも読書教育を日本に誇れるモデルとなるようにしていきたい。また、これまでも幼保小連携教育、小中一貫教育、縄文科教育、台湾高雄市との学校交流など、特色ある教育を先駆けて取り組んできている。茅野市にしかできない、茅野市だからできる教育を進めることで、日本中から注目され、世界に誇れる教育を目指していきたい。2つ目が子どもの命を守る危機管理教育及び対策についてということで、回答が、命の預かる学校では、緊急時の危機管理体制をしっかりと確認し、いつでも対応できる体制を作っておかなければならない。各学校では、学び方は違うが、災害時にまず自分の命を守ることの大切さについて学習している。学校で行う避難訓練や防災教育を通して、児童生徒には、いざというときの判断力、行動力、助け合うことの大切さ、命の尊さを学んで欲しいと思っている。3つ目に、学校と地域連携ということで、回答が、これからの学校は、保護者、地域住民が信頼関係を深め、協働して子どもたちを育てる仕組みづくりが求められている。小中一貫教育の実施に向け現在各学校にコミュニティスクールの組織作りをお願いしている。子どもたちが地域に関心を持つとともに、地域ぐるみで子どもたちを育てていきたい。4つ目が制度改革後の教育委員会についてということで、回答が教育委員長と教育長を一本化したことで、責任体制が明確になり、教育長の判断による教育委員への情報提供がスムーズに行われるようになった。また、市長部局と合意形成を図りながら教育委員会の事業が進むものと期待している。

北沢千登勢議員から母と子どもの健康を守る事業についてということで、学校トイレの洋式化について質問をいただいております。回答が、教育委員会では、各トイレに1基の洋式便器を設置してきた。現在、校舎内の便器546器のうち洋式は215器で約4割が洋式になっている。トイレの洋式化に向けては公共施設等総合管理に基づく学校施設の中長期整備計画に沿って、建て替え等に合わせ整備を進め、施設整備の順番が後になる学校については、施設整備を待たずに計画的に改修を進めていきたい。

また公の施設の管理運営についてということで2つ質問をいただいております。1つ目が保育園と学校の給食調理業務の委託についてということで、回答が、茅野市総合サービスの調理員の皆さんは、調理業務の基本的な知識や技術に加え、食育・地産池消・健康づくり・アレルギー対応などの課題を共有しながら調理業務をしていただいているので、これまで通り茅野市総合サービスに調理業務を委託してきたい。2つ目にCHUKO らんどチノチノの管理についてということで、回答が、平成25年度からチノチノの更なる充実を図るため、子どもの居場所ディレクターとして、専門性の高い人材を平成29年度末までの任期付き職員として採用している。専門的な知識や経験を活かし、たいへん成果を上げている。現在のような充実した体制を継続的に行うことは必要であるため、運営や企画事業の調整など提携的な業務も含めて、専門的な人材を確保している団体などに業務を委託するよう検討している。

矢島正恒議員から学習指導要領の改定による、幼児期の「外国語あそび」及び学齢期の「外国語教育」についてということで3つの質問をいただいております。1つ目が保育園における「えいごあそび」についてということで、回答が市内公立保育園における英語教育は、異文化への親しみを持つことを目的とし「多文化共生教育推進事業」として実施している。保育園においても外国籍の子どももおり、共に園生活を送っている。お互いを認め合い理解を深めていくことや、遊びや生活を通して、様々な言語や文化に触れ合う経験を大切にしている。2つ目が小学校における「英語教育」についてということで、回答が次期学習指導要領では、小学校中学年は年間35単位時間、高学年は年間70時間単位時間となる。市教委では「茅野市英語教育・外国語活動推進委員会」で改定に向け英語教育・外国語活動について研究や検討を行っている。平成30年からの段階的な先行実施に向け、モジュール授業を活用した取組の試行を始めている。3つ目に中学校における「英語教育」についてということで、回答が中学校では、年間の単位時間は同じだが、英語で行うことができるように求めている。また、これからは、小・中・高を通じて、英語によるコミュニケーション能力を確実に行うことが求められている。市では、来年度英語教育の試行を進めていくが、小学校における授業の相談、支援、アドバイスをしてくれる外部人材の活用として、台湾から英語教師を招聘し、教職員へ指導していただくことを計画している。

伊藤正陽議員から平成29年度の学校教育について5つ質問をいただいております。1つ目に小中一貫教育についてということで、回答が市では9年間の教科ごとのカリキュラムを作成し、全教職員が一斉授業から脱却した「豊かな学び合い学習」を根底に置いた小中一貫教育を行う・教職員への負担については、負担とを感じる教委職員もいるが、大切なことは、教職員が子どもと向き合う時間を多くし子どもをよく見ること、教職員の力を伸ばすことである。こうした点に立ち、小中一貫教育を進める。2つ目にICT教育についてということで、回答が来年度は、小中一貫教育の推進を図る観点から、テレビ会議ができる環境整備に取組、各学校にタブレット端末とWi-Fiの整備を進める。本年度は全国ICT教育首長協議会に加盟したが、今後協議会からのICT情報を基に、市のICT教育構想の計

画を策定する。3つ目に小学校での英語教育における教員の配置についてということで、回答が改訂の次期学習指導要領では、小学校中学年は10単位時間が35単位時間に、高学年は35単位時間から70単位時間に倍増する。原則英語教育は学級担任が行うため、学級担任の英語学習指導するための能力を身につけることが必須になる。4つ目に子どもたちが健やかに育つための環境づくりについてということで、回答が英語教育を充実させるためには、ALT等の人的増員や副教材などの整備が必要になる。学級担任だけに負担させることのないよう配慮していく。来年度、英語教育に国を挙げて先進的に取り組んでいる台湾から英語教師を招聘し、指導していただくことを検討している。5つ目に教員の多忙化解消に向けての取組についてということで、本来、教職員が児童生徒と向き合い、学び合える時間こそが児童生徒と先生の信頼関係をつくる大切な時間と考える。先生方の研修意欲に応える一方、過度の負担とならないよう研修等を計画し、多忙化解消に配慮していきたい。

両角昌英議員から子どもたちの安心安全を守る施策についてということで、3つの質問をいただいております。1つ目に家庭における防災教育と保育園や学校で行っている防災教育についてということで、回答が保育園や学校では、保育園・学校にいるときに災害が起きた場合に備え、身を守る行動を中心とした訓練を行っている。家庭には、学校便りや参観日における校長講話で緊急事の対応について周知している。今年の11月には、豊平小学校PTA主催による防災意識を高めるため、避難所体験学習会が開催されている。2つ目に幼保小中連携した交通安全教育についてということで、回答は年齢差があることや施設が離れているため、幼保小中連携や合同での交通安全教室は行っていない。保育園・幼稚園では、春に警察等と連携し交通安全教室を開催している。新入学児童には、当初上級生が下級生の面倒を見ながら登校し、下校時は教職員の付き添いによる集団下校を実施している。3つ目は通学路の安全対策についてということで、回答は通学路の交通安全対策は、通学路交通安全プログラムを策定し取り組んでいる。34か所の改善要望もこれまで30か所を改善し、3か所が施行中である。残り箇所については、早期の改善が図られるよう、関係機関に働きかけていく。

長田近夫議員から自動体外式除細動器（AED）の設置と運用について質問があり、市内小中学校におけるAED操作方法の講習について、回答は児童生徒には、AEDの使用目的、設置場所は説明しているが、実際に児童生徒だけで使用すると人命にかかわるので、児童生徒へのAEDの操作講習について、実施することは考えていない。現段階では、教職員やプールの当番の保護者を対象に実施している。

望月克治議員から茅野市の障がい児教育について2つ質問をいただいております。1つ目は障がいを持った子どもが能力に応じて教育を受ける権利をどのように考えていますか、2つ目が障がいを持った子どもが等しく教育を受ける権利をどのように考えていますか、ということで、1つ目と2つ目の質問の回答が市では特別支援教育支援員の増員や合理的配慮に努めている。また就学の決定では、本人・保護者の意見を最大限尊重し、合意形成

を原則に教育支援委員会で意見を集約している。さらに、校内での支援方法については、教育指導主事、発達支援センター、SSW によるアドバイスや外部の専門機関と連携している。特別支援学校に在籍する児童生徒が、より居住地の児童生徒との仲間意識を図り、自分の暮らす地域とのつながりを深めるため、来年度から副学籍制度を導入することを検討している。

こども部からは以上になります。

生涯学習部長

小池賢保議員から茅野市の教育について1つ質問をいただいております、生涯学習についてということで、回答は昭和63年3月に「生涯学習都市構想」を策定し、「障がいを通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む」を理念に生涯学習都市宣言している。今年3月に茅野市教育大綱が策定され、基本方針に「学習機会の充実と場の提供」をあげ、生きる力を育み、未来を切り開き、創造力あふれる人づくりを目指す。具体的には社会教育の推進、スポーツを通じた健康づくり、文化・芸術の振興と推進、歴史、文化遺産の保護と活用に取り組むとしている。具体的な施策は、平成30年度からスタートする第5次茅野市総合計画の個別計画に盛り込みたい。個別計画として生涯学習推進計画や第3次こども読書活動推進計画、スポーツ推進計画、文化芸術振興計画を策定する予定。現状と課題、基本的な考え方、あるべき姿、目標指標などを掲げ自分の思いや考えを盛り込みたい。阿部知事が言っている「長野県を教育県か学習県にする」は、県民の主体的な学びに応える教育環境の整備に意欲を示している。市は、「いつでも」「どこでも」「だれでも」学び続けられる環境を整えることを生涯学習の目標に掲げ、すでに取り組んでいる。幼児教育から学校教育、生涯学習と続く流れを作り、発展させることで、日本に誇れる教育環境を作りたい。

北澤千登勢議員から公の施設の管理運営について1つ質問をいただいております、体育施設の管理運営についてということで、回答は、国際スケートセンター、ゴルフ練習場は平成18年に、プールは平成28年度に指定管理者制度を導入している。県内19市の体育施設の状況を見ると、体育施設が10市、プール等が5市となっている。検討中の市もあり今後増えていく。スポーツ大会や教室等を導入している市はない。スポーツ健康課で行っている主な事業は、施設管理者の受付業務、施設の修繕等の維持管理業務、公園内の草刈等の業務、芝生の管理等環境整備業務、ひよこ教室等の教室開催事業。指定管理者制度導入のメリットである「民間のノウハウが生かせること」「市民サービスが向上すること」「経費の削減ができること」が期待できるのであれば導入を拒む理由はない。すべての事業を既存の指定管理者にお願いできるか、別の指定管理者にするのか、業務委託にするのかなど精査研究する。

両角秀喜議員より、茅野市開催イベントの継続と連携について1つ質問をいただいております、八ヶ岳縄文の里マラソンの継続と連携についてということで、回答は八ヶ岳縄文の里

マラソン大会は昭和26年に開催した「観光晴ヶ嶺マラソン」と昭和33年の「茅野20キロマラソン大会」に端を発し、昭和43年には観光と市民の健康づくりを目的に「茅野10キロマイルロードレース大会」になる。平成8年に健康志向が高まり楽しく賑やかなイベントにしたいとの思いから「茅野縄文の里マラソン」に名称変更。コースは陸上競技場を発着とする標高差250メートルのアップダウンが激しいもの。平成19年には多くの市内外の皆さんに参加してほしいと比較的平坦な現在のコースに変更し「八ヶ岳縄文の里マラソン大会」として開催。今年度の参加者は968名で、市内が2割、県内が4割、県外が4割。昨今のマラソン大会のブームに押されるなど参加者が横ばいの状況。今後は、募集期間の延長や各地のマラソン大会でのパンフレット配布、原村、富士見町の小中学生へのチラシ配布等を行い、地域の皆さんの参加を促し、茅野市ならではの八ヶ岳の豊かな自然に恵まれたコースの魅力や、縄文と結びつけた他のマラソン大会とは違う特色をPRしていく。この大会は市が主催し、多くの団体による実行委員会を組織し連携しながら運営している。毎年270名を超える皆さんの協力により開催できることを感謝している。今後も「八ヶ岳縄文の里マラソン大会」は、観光と市民の健康づくりを目的に開催し、参加者だけでなく、関わる人にも楽しい魅力ある大会運営を目指す。

教育長

次にその他2「市議会12月定例会議決結果について」こども部長、生涯学習部長からお願いします。

こども部長

こども部では議案83号「茅野市学童クラブ条例の一部を改正する条例について」ということで、第2子半額、第3子無料という内容の条例ですが、可決となりました。

次に陳情14「発達障がい児への学習支援の合理的配慮の提供（主にADHD児）に関する陳情書」ですが、茅野市に対して合理的配慮の提供が阻害されることなく推進される仕組みの構築及び、学習生活基盤を整備していただきたいということで、出されております。具体的には、発達障がい児にタブレット端末等を配備していただきたいという内容でした。特に永明小学校、コミュニティスクールを核として、具体的なものを構築して対応してもらいたいというご意見でした。今回、採択されましたので、市議会から市長の方へ報告されます。その結果を担当課の方で、それに対して報告をしていかなければいけないと思います。その報告等につきましては、また出てきた時に、定例教育委員会などで報告させていただきます。

生涯学習部長

陳情の部分になりますが、陳情１３「テニスコート使用の通年券制度の実施を求める陳情書」について、委員会で説明した上で委員会として不採択となりましたので、今回、不採択となりました。

教育長

次にその他３「教育施設等の年末年始の休みについて」各教育施設より説明をお願いいたします。

こども課長

０１２３広場につきましては、年始は３日までお休みとなっております。４日は５時までの開館となっております。チノチノも同じ日程時間となっております。

生涯学習課長

図書館、市民館、公民館、美術館を含めまして、１２月２９日から１月３日までは休館となっております。図書館につきましては、管理規則の中で、２８日から４日までとなっております。

文化財係長

考古館につきましては、他の施設と同様１２月２９日から１月３日までが休館となります。ハヶ岳総合博物館については、１日が午前中だけ開館しております。守矢神長館につきましては、１日が臨時開館、２、３日は休館となります。

スポーツ健康課

スポーツ施設につきましては、１２月２９日から１月３日までが休館、スケートセンターは、３０日、３１日が短縮営業となりますが、年中無休となります。

教育長

次にその他４「愛してるぜ茅野ミーティング２０１６の報告」こども課長から願います。

こども課長

【概要】

前回の定例教育委員会でご説明させていただきました「愛しているぜ茅野ミーティング２０１６」が１１月２７日に開催されました。教育委員の方にも参加していただきありがとうございました。当日は２００人を超える参加人数となりました。９回目の会議となり

ますが、今回の特徴としては、いくつかテーブルを用意してワールドカフェという形で話し合いを行っていたことがあります。ロビーでは中高生に絵などを展示していただきました。午後、開会となりオープニングではフラッシュモブというものを子どもたちが企画しました。1人が最初ダンスを行っていて、そこから少しずつスタッフの子どもたちがステージへ上がっていき踊る人数が増えていくというものでした。今回は第1部と2部分かれていて、第1部ではワールドカフェでプレイパークについて話し合うというものでした。そこで、まず未来プロジェクトとプレイパークの紹介を、映像を使い今回の課題について理解していただきました。10のテーブルに大人と子どもが混じるように分かれ話し合っていました。進行役を未来プロジェクト、どんぐりネットワークのみなさんにやっていただきました。結果を出すという話し合いではなく、アイディアを出してもらう、話し合うなかで仲間意識を持ってもらう、そんなところを目的として行いました。ワールドカフェでは80分話し合いをしました。ワールドカフェということで、テーマが3つありまして、テーブルのリーダーは動きませんが、その他の人は2つ目のテーマでは他のテーブルへ移動してもらいました。テーマについて話し終わったあとに最初のテーブルに戻って、また他のテーブルで話し合ったことをもとに意見を出してもらうということを行いました。最終的にはプレイパークを地域の人とどうやって広げていったらいいかを話し合いました。グループで書き出してもらった意見等については資料の通りです。感想はたくさんの人と話せてよかった、いろんなアイディアを聞いたなどがありました。今回はワールドカフェということで、結果を出す、発表するということがなかったので、戸惑いがあったかもしれませんが、それが目的ではありませんでしたので、今回は多くの人と話し、意見を出すというところで終わりました。

第2部につきましては、小中学生による、活動発表がありました。最初に東海大諏訪のチアリーディング、次に北部、永明中学校による合唱、次に東部中学校によるファッションショー、次に茅野高校による演劇が行われました。最後に全体講評がありました。その後スタッフの子どもたちが今回の会議の反省、次回に向けての意見交換などが行われました。

矢崎委員

楽しく参加させていただきました。普通に暮らしているとなかなかたくさん子どもたちに会うことはありませんが、この機会に多くの若者と会うことができ、テーマに「子どもの頃の遊び」があり、私も楽しんで参加させてもらいました。子どもたちの手で公園を作り家族と一緒に遊べるようになればいいなと感じました。

教育長

次にその他5「平成29年度地区公民館長の選考について」公民館長お願いします。

公民館長

茅野市公民館管理規則の中に「地区館長は教育委員会が委嘱する」とあります。名簿については資料の通りになります。24日に教育長から委嘱という形になりますのでよろしくお願いいたします。

教育長

次にその他6「図書館開館時間の延長（試行）について」生涯学習課長お願いします。

生涯学習課長

平成28年8月から9月に行った図書館利用者アンケートで、「開館時間帯を長くしてほしい」という意見が多かったことから利用者サービス向上を目的に、試行します。試行の状況を検証し、開館時間の延長を図るべきとの結論になった場合には平成29年から本格実施する予定だが、規則改正を行わなければならないため、実施時期は未定です。施行日には平成29年1月と2月の水曜日と金曜日の週2日、計13日、3月は、図書館システムの更改のため約2週間の休館があるため除外。火曜日と木曜日は図書館の事情、週末は職員配置の事情により行わない。試行時間は現行の午前10時から午後6時までの開館時間を、午前9時30分から午後6時30分にする。この内容につきましては、広報ちの、ホームページにて周知を行います。職員体制は早番と遅番で対応します。

矢崎委員

他の市町村の開館、閉館時間についてはどのようなになっておりますか。

生涯学習課長

夜7時まで開いているところもあれば、午後6時と市町村によって様々な状況です。

小林（智）委員

アンケートを取ったのが8月から9月に対して、延長を実施するのが1月と2月では日の長さも違いますし、利用者も異なると思いますが、夏には試行しないのでしょうか。

生涯学習課長

アンケート結果から来年度7、8月の学生が夏休みの時期に試行する予定でしたが、市長からとりあえず、試行してみてもどうかという話があり、今回1月、2月に試行することになります。あまり芳しくないようでしたら、小林（智）委員がおっしゃったように夏にまた試行するという形になるかと思います。

教育長

次にその他 7 「中学校台湾交流事業について」教育総務係長お願いします。

教育総務係長

1 月に茅野市 4 中学校の姉妹校である、高雄市の 4 中学校ともう 1 校が茅野市に来て交流を行います。詳細はまだ決まっておりますが、交流の日程は 1 月 20 日となっております。その日の夜に職員同士の交流会も計画しておりますので、教育長、教育委員のご出席をお願いいたします。21 日にはスキーを実施し、午後茅野を発つようです。詳細な日程につきましては、1 月中旬になってしまいますが、またお伝えいたします。

教育長

質問等ございませんか。

本日の予定されていた議事は全て終了しました。

次回定例教育委員会ですが、1 月 27 日金曜日午後 1 時 30 分から、事前を午後 1 時 00 分から開催したいと思います。よろしいですか。

全委員

異議なし。

教育長

ご異議ないようですので、そのようにいたします。

以上で 12 月定例教育委員会を終了します。

茅野市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定によりここに署名する。

平成 29 年 1 月 27 日

茅野市教育委員会 教 育 長

同職務者代理

委 員

委 員

委 員

こ ども 部 長